

## コロンビア月例報告（3月分）

### 外交・内政状況

2017年5月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

#### I 概要

##### 【内政】

- 1日 サントス大統領の支持率24%（世論調査結果）
- 1日 FARCの武器の登録開始
- 14日 バルガス副大統領の辞任表明
- 23日 和平合意検証国際団の有識者の任命
- 28日 平特別司法制度（JEP）創設法案の国会通過
- 29日 ナランホ副大統領の国会選出

##### 【外交】

- 1～3日 オルギン外相のスペイン訪問
- 1日 韓国との第2回政策対話
- 2～3日 ブレンデ・ノルウェー外相の当国訪問
- 2～3日 クーンデルス・オランダ外相の当国訪問
- 7日 北朝鮮によるミサイル発射に対する非難声明
- 9日 サントス大統領の太平洋同盟テレビ首脳会合参加
- 10日 オルギン外相のカリブ諸国連合（ACS）閣僚会合参加（於：キューバ）
- 11日 ローマ法王のコロンビア訪問日程の発表
- 12～13日 オルギン外相の第60会期国連麻薬委員会参加（於：ウィーン）
- 14～15日 オルギン外相及びラコトゥール商工観光相の太平洋同盟ハイレベル対話参加（於：チリ）
- 20日 コロンビアによるペルーへの緊急援助
- 22日 ベネズエラ兵によるコロンビア領への侵入
- 24日 コロンビア国連常駐代表による和平最終合意文書の提出
- 28日 オルギン外相のトゥクストラ対話と調整メカニズム外相会合参加（於：コスタリカ）
- 29日 サントス大統領の「トゥクストラ対話と調整メカニズム」首脳会合参加（於：コスタリカ）
- 30日 ビデガライ・メキシコ外相の当国訪問
- 30日 駐ベネズエラ大使の一時帰国

## II 本文

### 【内政】

#### 1 世論調査

1日発表されたギャラップ社による世論調査の結果、サントス大統領支持率は24%であった。

#### 2 FARCの武器の登録開始

1日、26カ所のFARC集住地域において、FARC兵の武器の登録作業が開始された。

#### 3 バルガス副大統領の辞任表明

14日、ヘルマン・バルガス・ジェラス副大統領は副大統領職からの辞任を表明した。辞任の理由は大統領選挙への出馬のためであった。

#### 4 和平合意検証国際団の有識者の任命

23日、政府及びFARCは、フェリペ・ゴンサレス元スペイン首相及びホセ・ムヒカ・元ウルグアイ大統領を、和平合意検証国際団の有識者として任命した。彼らの任務は和平合意の実施プロセスの検証及び進捗状況の発表等である。

#### 5 平特別司法制度（JEP）創設法案の国会通過

28日、ファースト・トラック適用下で審議されていた平特別司法制度創設法案が国会を通過した。

本件司法制度は、武力紛争を理由とした犯罪を調査、裁判、制裁することとされ、①執行事務局、②真実・責任認知及び事実・行為の決定法廷（認知の可否の判定）、③恩赦法廷（恩赦対象者を裁判から除外する）、④法的状況決定法廷（当該事案が和平特別司法制度の管轄か否かを決定する）、⑤調査・告発ユニット（和平特別裁判所に対して事案の調査・告発を行う）、⑥和平特別裁判所から構成される。

懲罰は、自ら真実・責任を認めた場合、5～8年間の自由及び権利を制限される刑（当館注：居住場所及び移動の制限）が課されると同時に、地雷除去活動、違法作物の転換作業への参加等の復興・補償活動に従事することとされている。

和平特別司法制度は15年間継続し、延長が可能である。また、武力紛争中の和平特別司法制度の管轄内の行為については、外国への犯罪人引渡対象にならないことが保証される。

#### 6 ナランホ副大統領の国会選出（閣僚リスト別添）

29日、国会において、ナランホ元国家警察庁長官が副大統領に選出された。

新副大統領の選出に際しては、各政党が候補者を提示し、投票により選出することとなっているが、連立与党を含む多数の政党が、サントス大統領が推薦していたナランホ氏を提示した。

## 【外交】

### 1 オルギン外相のスペイン訪問

1～3日、欧州歴訪中のオルギン外相はスペインを訪問し、2日、ダスティス・スペイン外相と会談し、二国間協力、教育、文化及びスポーツに関して協議した。

### 2 韓国との第2回政策対話

1日、エチェベリ外務次官（マルチ担当）は、Lim Sung-Nam 韓国外務次官と第2回政策協議を実施した。同協議においては、通商、国内・域内政治情勢、協力、教育、文化及び多国間問題等が協議された。

### 3 ブレンデ・ノルウェー外相及びクーンデルス・オランダ外相の当国訪問

2～3日、ブレンデ・ノルウェー外相及びクーンデルス・オランダ外相が当国を訪問し、3日、共にFARC集住地域を視察した。また、両外相は、それぞれ、サントス大統領及びオルギン外相と会談した。

### 4 北朝鮮によるミサイル発射に対する非難声明

7日、コロンビア外務省は、北朝鮮によるミサイル発射を非難する声明を発出した。

### 5 サントス大統領の太平洋同盟テレビ首脳会合参加

9日、サントス大統領は、オルギン外相及びラコトゥール商工観光相とともに、太平洋同盟テレビ首脳会議に参加した。参加各国の首脳は、国際情勢、経済・通商問題等につき議論した。また、米国との課題に直面するメキシコを支援する内容の宣言が発出された。

### 6 オルギン外相のカリブ諸国連合（ACS）閣僚会合参加（於：キューバ）

10日、オルギン外相は、第22回カリブ諸国連合閣僚会合に参加するためキューバを訪問した。キューバにおいてオルギン外相は、ビデガライ・メキシコ外相と会談したほか、藪浦外務副大臣とも会談した。

## 7 ローマ法王のコロンビア訪問日程の発表

11日、当国カトリック教会の最高位にあるサラサール枢機卿は、フランシスコ・ローマ法王の当国訪問日程の詳細を発表した。同発表によれば、フランシスコ方向は、9月6～7日、ボゴタに滞在し、8日にビジェビセンシオ、9日にメデジン、10日にカルタヘナを訪問する予定である。

## 8 オルギン外相の第60会期国連麻薬委員会参加（於：ウィーン）

12～13日、オルギン外相及びパルド・ポストコンフリクト担当高等審議官は、ウィーンで開催された第60会期国連麻薬委員会に参加し、麻薬対策の抜本的な見直し（当館注：犯罪としてではなく保健・衛生問題として取り組むべきとの主張）を訴えた。

また、国連薬物犯罪事務所とコロンビアの共催により、「コロンビアのポストコンフリクト違法作物対策の戦略」と題された行事が開催された。

## 9 オルギン外相及びラコトゥール商工観光相の太平洋同盟ハイレベル対話参加（於：チリ）

14～15日、オルギン外相及びラコトゥール商工観光相は、チリのビーニャ・デル・マールで開催された太平洋同盟ハイレベル対話に参加した。同対話には、太平洋同盟諸国に加えて、TPP署名国も参加した。

同対話の機会にオルギン外相は、マクレー・ニュージーランド貿易相と会談し、航空サービスに関する協定に署名したほか、ニュージーランドによる対人地雷除去関連の100万NZドルの贈与に謝意を表した。

## 10 コロンビアによるペルーへの緊急援助

20日、ペルーの洪水被害に対して、コロンビア政府は空軍機を派遣し30トンの人道支援物資を供与した。

## 11 ベネズエラ兵によるコロンビア領への侵入

22日より、アラウカ県においてベネズエラ兵のコロンビア領内への侵入事案が発生し、両国間の緊張が高まったことを受け、23日、サントス大統領はマドゥーロ・ベネズエラ大統領と電話会談を行った。当初マドゥーロ大統領は侵入の事実を否定したが、サントス大統領が強く要求したところ、23～24日にかけて、ベネズエラ兵は退去した。ベネズエラ側は、本件の原因を国境線を構成するアラウカ川の増水により生じた解釈の相違が原因と主張した。

#### 12 コロンビア国連常駐代表による和平最終合意文書の提出

24日、コロンビア国連常駐代表のメヒア大使は、FARCとの和平最終合意文書を、グアテマレス国連事務総長及びマイクロフト安保理議長に対して提出した。

#### 13 トウクストラ対話と調整メカニズム首脳会合等（於：コスタリカ）

28日、コスタリカにおいて「トウクストラ対話と調整メカニズム」外相会合が開催され、オルギン外相が参加した。

29日、「トウクストラ対話と調整メカニズム」第16回首脳会合が開催され、サントス大統領及びオルギン外相が参加した。

#### 14 ビデガライ・メキシコ外相の当国訪問

30日、ビデガライ・メキシコ外相が当国を訪問し、オルギン外相とともにコロンバイ・メキシコ戦略関係会議を開催した。同会議は、2015年にサントス大統領がメキシコを訪問した際に立ち上げられたものである。

#### 15 駐ベネズエラ大使の一時帰国

30日、オルギン外相は、ベネズエラ情勢の報告をさせるためにロサノ駐ベネズエラ大使を一時帰国させることを決定した。

第二次サントス政権閣僚名簿(2017年3月29日現在)

	<b>Presidente</b> 大統領	Juan Manuel <b>SANTOS</b> Calderón フアン・マヌエル・サントス・カルデロン	国民統一党
	<b>Vicepresidente</b> 副大統領	Óscar Adolfo <b>NARANJO</b> Trujillo オスカル・アドルフォ・ナランホ・トルヒージョ	
	<b>Ministro del Interior</b> 内務大臣	Juan Fernando <b>CRISTO</b> Bustos フアン・フェルナンド・クリスト・ブストス	自由党
	<b>Ministra de Relaciones Exteriores</b> 外務大臣	María Ángela <b>HOLGUÍN</b> Cuéllar マリア・アンヘラ・オルギン・クエジャル	
	<b>Ministro de Hacienda y Crédito Público</b> 財務・公債大臣	Mauricio <b>CÁRDENAS</b> Santa María マウリシオ・カルデナス・サンタ・マリア	保守党
	<b>Ministro de Justicia y del Derecho</b> 法務大臣	Enrique de Jesús <b>GIL</b> Botero エンリケ・デ・ヘスス・ヒル・ボテロ	保守党
	<b>Ministro de Defensa Nacional</b> 国防大臣	Luis Carlos <b>VILLEGAS</b> Echeverri ルイス・カルロス・ビジェガス・エチェベリ	自由党
	<b>Ministro de Agricultura y Desarrollo Rural</b> 農業・地方開発大臣	Aurelio <b>IRAGORRI</b> Valencia アウレリオ・イラゴリ・バレンシア	国民統一党
	<b>Ministro de Salud y Protección Social</b> 厚生・社会保障大臣	Alejandro <b>GAVIRIA</b> Uribe アレハンドロ・ガビリア・ウリベ	自由党
	<b>Ministra del Trabajo</b> 労働大臣	Clara Eugenia <b>LÓPEZ</b> Obregón クララ・エウヘニア・ロペス・オブレゴン	PDA
	<b>Ministro de Minas y Energía</b> 鉱山・エネルギー大臣	Germán <b>ARCE</b> Zapata ヘルマン・アルセ・サパタ	保守党
	<b>Ministra de Comercio, Industria y Turismo</b> 商工観光大臣	María Claudia <b>LACOUTURE</b> Pinedo マリア・クラウディア・ラコトゥール・ピネド	国民統一党
	<b>Ministra de Educación Nacional</b> 教育大臣	Yaneth <b>GIHA</b> Tovar ジャネット・ジハ・トバル	
	<b>Ministro de Ambiente y Desarrollo Sostenible</b> 環境・持続可能な開発大臣	Luis Gilberto <b>MURILLO</b> Urrutia ルイス・ヒルベルト・ムリージョ・ウルティア	急進改革党
	<b>Ministra de Vivienda, Ciudad y Territorio</b> 住居・都市・国土大臣	Elsa Margarita <b>NOGUERA</b> De la Espriella エルサ・マルガリータ・ノゲラ・デラエスプリエジャ	急進改革党
	<b>Ministro de Tecnologías de la Información y las Comunicaciones</b> 情報技術・通信大臣	David <b>LUNA</b> Sánchez ダビッド・ルナ・サンチェス	自由党
	<b>Ministro del Transporte</b> 運輸大臣	Jorge Enrique <b>ROJAS</b> Quiceno ホルヘ・エンリケ・ロハス・キセノ	国民統一党
	<b>Ministra de la Cultura</b> 文化大臣	Mariana <b>GARCÉS</b> Córdoba マリアナ・ガルセス・コルドバ	